

## ＜H25年度の3Rの主な取組実績について＞

### 1 段ボールコンポストの普及促進

燃やせるごみのうち特に水分量が多い生ごみについて、段ボールコンポストを使って良質な堆肥を作り、自然環境にやさしい循環システムの確立を図った。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
一般向け講習会	38回	15回	30回
	659人	232人	406人
リーダー育成講習会	14校区	3校区	リーダー座談会へ
	114人	21人	8校区
環境学習モデル事業	小学校1校	小学校6校	小学校5校
	保育園15園	保育園11園	保育園9園
各種イベントでの展示説明会	7回	3回	9回

- ・ふれあいセンター等での販売開始（新川、川上、小羽山、恩田、西岐波、常盤、神原、原、黒石、鶴の島、上宇部、東岐波、福祉会館の13箇所）

※現在は計18箇所にて実施

### 2 家庭系廃食油のリサイクル推進

家庭系廃食油について、スーパーマーケットの店頭回収によるリサイクルシステムを構築し、廃食油から精製されたバイオディーゼル燃料(BDF)をときわ公園内のごみ収集車や交通局のバスに使用した。

- ・回収場所 生活協同組合コープやまぐち コープ宇部店（恩田町）  
山口アポロ石油株式会社（宇部西営業所、八幡宮前営業所、ドリームライフアポロ）  
※現在は川上・西宇部ふれあいセンターにおいても回収開始
- ・BDF精製 ㈱アースクリエイティブ（宇部テクノパーク）

	平成23年度 (4月～)	平成24年度	平成25年度
回収実績	2,3220	3,3080	4,3470
(対前年比)		42%↑	31%↑

### 3 古着・古布のリサイクル推進

家庭で不用になった古着・古布を各ふれあいセンター等で回収し、障害福祉サービス事業所でウェス（工業用雑巾）に加工した。

- ・回収場所 各ふれあいセンターなど公共施設 計30箇所

	平成23年度 (8月～)	平成24年度	平成25年度
回収実績	22,790kg	37,536kg	51,764kg
(対前年比)		65%↑	38%↑

### 4 子育て支援リユース事業

家庭で不用になった子供服や絵本を市役所本庁等で回収し、リユースフェアにて希望者に無料で提供することにより、リユースの促進を図った。

- ・回収場所 市役所本庁、宇部市子育てサークル(宇部市総合福祉会館)、宇部市子育てサークルくすのき(宇部市楠総合支所)

		平成24年度(6回開催)	平成25年度(9回開催)
回収実績	子供服	9,973枚 1,778kg	15,096枚 2,746kg
	絵本	2,873冊 1,024kg	2,047冊 714kg
配布実績	子供服	6,286枚	11,581枚
	絵本	1,809冊	1,459冊

〔 H24.6月から回収  
H24.9月第1回開催 〕

### 5 使用済み小型家電リサイクル(H25年3月事業開始)

家庭で不用になった小型家電を各ふれあいセンター等で回収し、選定した認定事業者へ引渡し、再資源化の促進を図った。

- ・回収場所 各ふれあいセンター、市役所本庁、リサイクルプラザ
- ・回収実績 6,678kg (H24年度1,747kg)

### 6 生ごみ・草木の水切りの促進(H25年度から)

ごみの減量化と焼却施設での燃焼効率の改善のため、燃やせるごみの中でも特に含水率の高いとされる、生ごみ・草木の水切りの促進を図る目的で、「水切り教室」を実施した。

- ・一般向け講習会 10回 受講者267人

## 7 エコクッキング教室による生ごみの発生抑制の促進（H25年度から）

ごみの減量化のため、「ごみをもとから減らす」という観点から、エコクッキング教室を開催し、ごみを出さない調理法等の普及啓発を行った。

- ・一般向け講習会 2回 受講者48人

## 8 環境地域通貨「エコハ」の創設（H25年7月事業開始）

環境に配慮する市民の行動を評価し、その行動を応援するため、市内の店舗等で使用できる環境地域通貨「エコハ」を発行した。

- ・交付対象行動 環境事業等への協力、環境講座・環境学習等への参加、清掃活動への参加、イベント等で指定された特定の行動の実施
- ・配布枚数 8,860枚

## 9 生ごみリサイクル実証事業（H25年度実施済）

ごみの減量化とリサイクル率の向上のため、燃やせるごみの中でも特に含水率が高いとされる生ごみのうち家庭系生ごみを対象として、モデル自治会における飼料化リサイクルについての検証を実施した。

- ・実施期間 平成25年8月2日（月）～平成25年11月29日（金）  
※毎週 月・水・金曜日に収集（延べ収集日数52日）
- ・実施場所 厚南11区 際波台自治会（世帯数：730世帯）

## 10 草木リサイクル実証事業（平成25年度実施済）

ごみの減量化とリサイクル率の向上のため、燃やせるごみの中でも特に含水率が高いとされる草木のうち自治会清掃で排出される草木を対象として、民間事業者による継続的なリサイクル処理の可能性についての検証を実施した。

- ・事業期間 平成25年5月上旬～6月下旬
- ・対象 自治会清掃で排出される草木